

報道関係者 各位

大阪府におけるオセルタミビル(商品名:タミフル)耐性を示す

新型インフルエンザウイルスについて

大阪府から、タミフル耐性を示すH275Yの遺伝子変異を持つ新型インフルエンザウイルスが分離され、薬剤感受性試験により薬剤耐性が確認されたとの報告がありましたので、その概要について、別紙のとおり、情報提供します。

連絡先

大阪府新型インフルエンザ対策本部事務局

健康医療部 保健医療室

地域保健感染症課

担 当 大庭、冨田

代 表 06-6941-0351 (内線 2542)

直 通 06-6942-9888

オセルタミビル (商品名: タミフル) 耐性を示す新型インフルエンザウイルスが検出されましたのでお知らせします。

なお、患者は既に回復し、周囲へのタミフル耐性を疑う感染も確認されていません。

(経過概要)

- インフルエンザの流行動向を把握するため、医療機関の協力を得て、インフルエンザ患者から採取した検体について、ウイルスが新型か季節性かの型を確認するウイルスサーベイランスを実施しています。
- 大阪府立公衆衛生研究所において 12 月に提供を受けた 21 検体について、ウイルスの分離、同定作業を経てタミフル耐性の検査を行ってきました。
- 今般、12 月 9 日に採取した 1 検体から、1 月 19 日にタミフル耐性の変異が認められたため、1 月 20 日に国立感染症研究所へ送付。感受性試験が行われ、本日、タミフル耐性が確認された旨の通知がありました。

(患者の概要)

8 歳 男性 豊中市

12 月 3 日 倦怠感、咽頭痛、嘔吐症状あり、入院

4 日 簡易キット A (+)、タミフル処方

6 日 解熱するが、咳症状が残る

11 日 軽快により退院

(参考)

タミフル耐性ウイルスの確認は、全国で 44 例目、大阪府内で 4 例目。